



2022年5月11日

各 位

会 社 名 富士ソフトサービスビューロ株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 諭
(コード番号：6188 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 管理本部長 鈴木 久美
(TEL. 03-5600-1731)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2022年2月7日付けの「2021年12月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において発表いたしました、2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年12月期 第2四半期(累計)業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,800	245	245	169	12.52
今回修正予想(B)	5,400	380	380	262	19.57
増減額(B-A)	600	135	135	93	—
増減率(%)	12.5	55.1	55.1	55.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年12月期 第2四半期)	4,086	176	176	117	8.73

(注) 当社は2022年12月23日を期日とする上限40万株の自己株式取得を予定しています。2022年12月期業績予想における1株当たり四半期純利益は、当該取得の影響を考慮し算出しています。

2. 修正の理由

当社では、「特化型コールセンターを中心としたBPO業務の積極展開」を課題に、「官公庁系ビジネス」、「ITヘルプデスク」、「金融系オフィスサービス」を成長の3本柱としてサービスの拡大を図ってまいりました。

第2四半期(累計)の業績予想につきましては、売上高は官公庁や地方自治体の新型コロナウイルス感染症対策に関連する期間限定の外部委託需要を受け、前回発表の業績予想値を上回る見込みとなりました。

利益につきましては、増収および好採算となった案件が寄与し前回発表の業績予想値を上回る見込みとなりました。

以上により、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益、1株当たり四半期純利益を修正いたします。

なお、2022年12月期通期業績予想につきましては、売上高は現時点で下期における新規予定案件の不確実性等を勘案した結果、前回発表数値を据え置いております。

利益につきましても、同様に新規予定案件の不確実性および第2四半期以降に環境整備に伴う投資や大型案件の立上げ費用などの増加が見込まれることから、前回発表の業績予想値を据え置いております。

当社では、今後とも大型案件で培ってきたノウハウを活かし、「専門性」「品質」に重点を置いた「特化型コールセンターを中心としたBPOサービス」を積極展開し、売上基盤の拡大を図るとともに、効率的な業務運営を推進し、中長期的に安定した経営基盤を構築してまいります。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上